

# 宮崎県拠点だより



## 霧島連山の魅力を活かした農家民泊 ～市・町を超えた「北きりしま田舎物語推進協議会」の取組～

雄大な景観と古くから神話と伝説を持つ霧島連山の北東に位置する北きりしま地域(小林市・えびの市・高原町)で、地域の活性化に寄与するため、農家民泊をはじめ、体験型観光、グリーンツーリズムの受入を行っている「北きりしま田舎物語推進協議会(平成18年10月設立)は、会員数68名、受入家庭39戸、専従の事務員2名常駐となっており、受入可能人数は170名と県内最大で、大規模学校の修学旅行にも対応可能となっています。



子牛のミルクやり体験



流しソーメンの様子

平成30年度の受入実績は、日帰りの197名を含め1,435名。うち修学旅行は984名(7校)、外国人も72名受け入れています。

協議会では、旅行会社などに誘致活動を行い、申し込みがあった際は、事務局が一括して受付し、受入家庭の調整を行っています。

また、会員のスキルアップを図るため、衛生や救命、リスクマネジメント等に関する講習会を行うとともに、「はじめまして！の後はもう家族。」をモットーに、ゲストを迎え入れ、一緒に過ごす時間を大切にしています。今後は、インバウンドの受入体制も充実を図ることとしています。

## 中山間地域をシキミの産地に！！

### ～関係機関が連携し担い手を育成～

JA延岡の北川町シキミ部会では、中山間地域での農家所得を確保できる有望な品目として、シキミ(※)の生産振興を図っています。

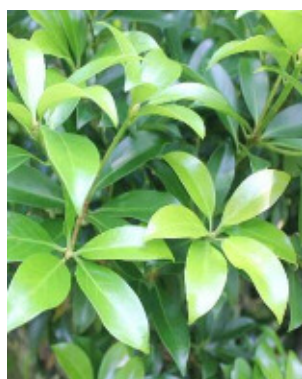
周年出荷が可能なシキミは、仏壇やお墓の供え物として一定の需要があり、今後も中山間地域の有望品目として期待されるものの、近年は、生産農家の高齢化及び担い手不足により、需要期(お盆・彼岸)の大量注文に対応できなくなっています。



【栽培ほ場】



【出荷前】



【シキミ】

※シキミとは、仏壇やお墓に お供えする常緑樹。

そこで、JA延岡と行政機関が連携して、平成26年度から担い手確保に向けた取組を開始しました。

異業種(建設業)からの新規就農者となられた方は、1週間の農家体験後に、農業次世代人材投資資金(準備型)を活用し1年間の指導農家での研修を経て、2年目には離農農家の園地を借りて研修を受けて、3年目以降は経営開始型を活用し、園地を引き継いで、地域の担い手となることができました。

現在4名が新規就農しており、シキミ産地には新たな担い手が増え、産地の活性化が図られています。

## ディスカバー農山漁村(むら)の宝(第6回)の選定結果を公表 ～コミュニティ部門に「NPO法人五ヶ瀬自然学校」が選定～

農林水産省は、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信しています。

第6回選定として応募総数931件の中から31地区及び5名が選定され、本県から「NPO法人五ヶ瀬自然学校(理事長:杉田英治氏)」がコミュニティ部門に選定されました。

同法人は、地元の自然や資源などを最大限に活かして、農林業、エコツーリズム



【五ヶ瀬川支流の小川での沢登り】



【椎葉村の焼畑火入れ作業】



【五ヶ瀬町民がガイドするフットパスツアー】

等を含めた取組を行い地域の活性化を図っています。

また、同法人が運営する「RQ九州五ヶ瀬ボランティアセンター」は、世界農業遺産の高千穂郷でのフットパスツアーのガイド、椎葉山地域の焼畑作業などの集落支援や、熊本地震災害支援も実施しています。

## 県内の中古畜舎・ハウスをお探しの方へ ～離農施設情報サイトを試行的に開設しました～

### 宮崎県の地域農政情報

#### 離農施設情報サイト【試行的開設】 New!

市町村をクリックすると詳細へジャンプします。



←各市町村をクリック



宮崎県の農業の主力である畜産や施設園芸は、新規就農者にとっては畜舎やハウス等の施設が必要なことから、初期投資が多額となり、高いハードルとなっています。

宮崎県拠点では、現場で得た離農施設の情報を集約し、新規就農者が知りたい離農施設情報の「見える化」を図り、県内関係機関と情報共有することで、新規就農の一助となるよう取り組んでいます。

🔍 離農施設情報サイト

🔍 検索

### 地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容や、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

### 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。